

# 1. 評価結果概要表

平成 21年 3月 24日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2094000045		
法人名	社会福祉法人七つの鐘		
事業所名	なでしこ		
所在地	安曇野市 三郷 温 2517 (電話) 0263-76-5151		
評価機関名	株式会社福祉経営サービス研究所 サービス評価推進室		
所在地	長野県松本市深志3丁目7番17号		
訪問調査日	平成21年3月24日	評価確定日	平成21年4月22日

【情報提供票より】( 21年 2月 28日 事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 20年 4月 7日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	7人
職員数	8人	常勤7人	非常勤1人 常勤換算7.6人

### (2) 建物概要

建物構造	木造 造り		
	2階建ての	1階部分	

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	55,000 円	その他の経費(月額)	18,000 円	
敷金	無			
保証金の有無(入居一時金含む)	無	有りの場合償却の有無	無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		1,200 円	

### (4) 利用者の概要 ( 2月 28日 現在)

利用者人数	7名	男性	3名	女性	4名	
要介護1	1名	要介護2	4名			
要介護3	1名	要介護4	1名			
要介護5			要支援2			
年齢	平均	85歳	最低	75歳	最高	91歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	池田医院 城西病院
---------	-----------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

ホームは主道路より入った田畑と民家が点在する閑静な場所にあり、築200年の古民家を改修し、昔馴染みのぬくもりと、心地よさを最大限に活用されている。庭には沢山の古木が植えられ、四季を肌で感じ取ることのできる環境の中、職員の寄り添いの支援を受け、入居者はごく自然に庭先で季節の花を植えたり、庭や玄関の掃除をされている。開設後約1年を迎え、入居者同士思いやりの心を大切にして、お互いに助け合い認め合いながら大変明るく笑顔をもってゆっくりのんびりと過ごされている。この状況も認知症介護経験年数が長く、専門性を持ち合わせると共に終始にこやかにケアに当たられている管理者や職員の方々による継続的な支援により、入居者の安定した生活の確保が得られる結果と拝察される。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	今回が初回の外部評価のため該当いたしません。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員会議において自己・外部評価の意義を全職員で理解し、職員全員で自己評価に取り組まれている。日頃提供されているケアサービスのなかに気付きを見出し、見直しの機会になったことを伺った。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	開所以来初回の運営推進会議にあたり、入居者・ご家族よりの意見や地域の方々よりの助言、行政よりの指導、ホームよりの要望等が出され、参加者より意見を拝聴されている。今後、今回の外部評価であきらかになった課題や現在取組まれている内容について、会議で報告し検討されることを期待します。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	契約時にホームより市町村及びホームの苦情窓口の説明をすると共に、運営推進会議出席時やご家族面会時に、気軽に意見が表出できる場面づくりに配慮がされている。意見や要望があった時には職員全員で話し合い、速やかにサービス提供に反映されている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	地域との交流を大切にしており、地域の行事や公民館活動に積極的に参加し交流が図られている。なお毎日の楽しい外出(散歩や買い物等)により、地域の人々との出会いや交流を持たれると共に、地域より多くのボランティア活動の受け入れを入居者は大変楽しみにされている。また職員が地域の一斉清掃に参加して地域の方々との交流に努められている。

## 2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域密着型サービスの意義を全職員で理解して、日々の方針や目標が組み入れられたホーム独自の理念が構築されている。		今後更に理念を日々の方針や目標に具体化した内容で伝え、入居者・ご家族・訪問者にも理解が得られる理念の作成に期待します。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念をホーム玄関に掲示すると共に、職員全員が基本理念が明記された用紙を携帯し、常に理念の共有化を図り、意識をしてケアに当たられている。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事(文化祭・小学校運動会等)や公民館活動(折り紙や素甘作り講習会等)に入居者・職員と一緒に参加し交流が図られている。また地域より多くのボランティアを受け入れ、入居者も大変楽しみにされている。なお職員が地域の一斉掃除に参加して地域の方々との交流に努められている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	ミーティングにおいて自己・外部評価の意義を全職員で理解をし、職員全員で自己評価に取り組まれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議には入居者、ご家族、地域住民(区長、民生委員、大家)、行政、ホーム職員等の参加により開催されている。入居者・ご家族よりの意見や地域の方よりの助言、行政よりの指導、ホームより要望等が出され、参加者より意見を拝聴されている。</p>		<p>今回の会議より得られた継続検討議題の防災訓練について、ホームの災害時対策に関する理解を深め、地域の消防団、自治体等との協力体制を築かれることを望みます。</p>
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>市役所担当職員に運営推進会議に参加して頂き、意見や指導を頂いている。なお入居者退所による空室等の相談がけをされている。</p>		<p>今後更にグループホームや認知症への理解を頂くために認知症予防教室を積極的に受諾して、市町村との連携を図られることを望みます。</p>
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>ご家族訪問時や毎月の利用料請求時に入居者の暮らしぶりや、身体状況について報告をされている。なお定期的(年4回)に広報誌を発刊し、入居者のホームでの活動状況等を報告されている。毎月預かり金の出納簿を送付して金銭管理を明確にされている。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>ご家族訪問時にはご家族との懇談場所を設け話しやすい雰囲気づくりに配慮され、意見や意向を表出できるよう努められている。意見・要望があった時には職員全員で話し合い、速やかにサービス提供に反映されている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ホーム開所以来、職員の異動がないことを伺った。今後におかれても入居者、ご家族との信頼関係を築かれるためにも、馴染みの関係を重視され、職員の異動を最小限に抑える旨が伺えた。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の経験や習熟度に応じ、段階的に外部研修に参加されている。研修後ミーティング時に報告を行い、職員全員で内容の周知が図られている。年間一人2回以上の認知症専門研修等に参加されている。なお母体施設の研修にも参加をし、質の確保と向上に取り組まれている。</p>		<p>今後更に各職員が苦手としている事柄を再確認し、年間研修計画をたて計画的な学びの機会を得る取り組みに期待します。</p>
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>現在同業者との交流が行われていないことを伺った。</p>		<p>近隣のグループホームとの交流を持たれ、相互研修により、各ホームの工夫点を見出す等学びの機会が得られることに期待します。</p>
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>ホーム利用予定者宅を職員が訪問して馴染みの関係を築かれたり、ホーム見学や日帰り体験利用等により、職員や入居者と共有の時間を過ごし、雰囲気馴染んでいただけるよう配慮をされている。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>入居者がその人らしく暮らし続けるために、日頃より入居者の思いを良く聞き取り支援されている。入居者同士の関係の構築により、共に支え合う関係が築かれている。入居者同士の会話や職員との会話のやり取りの中には労りの言葉もあり、また、知恵袋より学ぶことも多いことを伺った。</p>		



外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>職員は入居時に入居者・ご家族より得られた「暮らしの情報(私の暮らし方シート)」を把握し、常に入居者の言葉に傾聴し、思いや希望の把握に努められている。なお意向の表出困難な方には態度や表情より読み取る配慮やご家族よりの情報を得て支援をされている。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>入居者ごとの担当があり日々の生活を把握して、計画作成に当たり入居者・ご家族の意向を聞いた上で、職員全員でミーティングを行い入居者主体の暮らしを反映した介護計画が作成されている。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>設定した期間(3ヶ月に1回)で、定期的な介護計画の見直しが行われている。なお入居者の状態変化に応じて、入居者・ご家族の意向を取り入れ、臨機応変な見直しが行われている。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>入居者の通院時や、ご家族の都合がつかない時にはご家族に代わって、通院介助が行われている。なお協力医による月1回の訪問診療による連携により、入居者・ご家族の安心が得られている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>入居者・ご家族の希望にそった受診支援が行われている。なお協力医による月1回の訪問診療も受けられている。</p>		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居時に重度化や終末期の対応について、話し合いが行われている。今後更に入居者やご家族の希望に向けてホームとして、でき得る最大の支援を具体化していかれる旨を伺った。</p>		<p>入居者やご家族がターミナルケアを希望された時には、希望に添える適切な対応が取れるように条件整備を図られると共に、関係者間でケアの方針を共有して、入居者やご家族が安心した終末期を迎えられることを望みます。</p>
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者一人ひとりの尊厳を保ちつつ、言葉掛けに配慮されている。なお個人情報に繋がる書類等の保管管理の徹底が図られている。</p>		<p>今後更に日常生活支援にあたり、プライバシー確保に向けたマニュアルの作成を望みます。</p>
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>ホームの基本的な流れはあるものの、入居者の意向に配慮しつつ、その日・その時の状態に合わせた、柔軟な支援が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>入居者と献立を一緒に考え、冷蔵庫を見て足りない材料を買い物にて調達したりホーム菜園より季節の食材を収穫して、食事づくりから片付けまで会話を楽しみながら一連の作業と一緒にに行っている。なお職員と一緒にテーブルを囲み食事を楽しまれている。</p>		
23	57	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>週2回の基本的な入浴日は決められているものの、入居者の希望にそった柔軟な対応に努められている。入居者の気分で入浴を拒否される場合は、決して強要せず足浴等、方法に配慮がされている。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>入居者同士で(得意分野)役割を決められ、買い物・調理・裁縫・庭仕事等を日常生活の一環として、ごく自然にお互いに労い励ましあって行われている。外出(公民館活動・絵手紙教室・ピクニック・お花見・外食等)やホーム行事(誕生会・納涼祭等)による盛沢山の楽しみごとや気晴らしの支援が行われている。</p>		
25	61	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>日課とされている散歩や入居者の希望を得て時にはお弁当を持っての外出や買い物・回転寿司や喫茶店等の外食・バラやアジサイ等の花見などをして季節感を味わい、地域の方々との出会いを楽しまれている。</p>		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>訪問時玄関は開放されており、入居者が玄関先で鉢植えをしたり、玄関の掃除をされていた。日中は玄関には施錠をされない取り組みを伺った。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>ホーム独自で入居者も参加して避難訓練が行われている。</p>		<p>災害時の対応手順(避難経路)役割分担等についてマニュアル化すると共に消防署や地域の消防団を交えた避難訓練を行うことを望みます。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者の希望を取り入れつつも献立が重ならないよう配慮をし、バランスの良い栄養摂取ができるよう努められている。(定期的な体重測定を行い状態把握)なお水分摂取についても1日の水分量が確保できるよう支援されている。</p>		<p>母体施設の管理栄養士による専門的な観点から定期的なチェックを受け、アドバイスを頂くことを望みます。</p>
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>訪問時玄関先に立てかけられたキャンバスの中に季節の花々が植えられ、温もりと季節が感じられる工夫がされている。なお居間には天窓からこぼれる光と適度な照明が昔ながらの古民家の古木を照らし、温もりと安心感が得られている。古民家にマッチした家具や暖簾など、入居者が落ち着いて過せる空間づくりへの工夫が伺えた。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ホームパンフレットにも記載「日常生活に必要なものは自由に持ち込み、自分に合った居住空間をおつくり下さい」とあり入居者が長年使い慣れた好みの品(ベット・収納箱・思い出の写真等)を持ち込まれ、居心地よく過すための工夫がされている。</p>		

は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。